



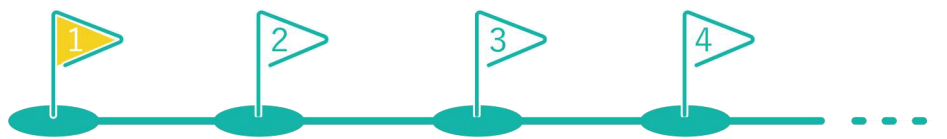
旧県美再生！ワークショップ
「せばなるあきた」の様子をお届け！

せばなる 通信

愛された美術館の歴史と記憶。そして、これから。

梅雨が明け、港まつりが終わった 7月22日、旧県立美術館再生に向けたワークショップ「せばなるあきた」の第1回目がにぎわい交流館 AU で開かれました。参加したのは、20～70歳代の総勢約70名！旧県美をめぐるあんなこと、こんなことへの思いや願いが会場にギュギュッとあつまって、活気あるスタートを切りました！

NO.1



「せばなるあきた」ワークショップの目的

- 旧県美を活用することで実現したい、「ありたい」まちの未来を考える。
- それを実現するために…
旧県美の「こんな場所になればいい」「こんなのがあればいい」を考える。
- ここにいる皆さんの関係性を深める。
- 旧県美とその周辺がにぎわうワクワクを考える。

第1回目のゴール

- 旧県美とその周辺のこれまでとこれからを共有する。
- ここにいる皆さんの関係性が少し深まっている。
- 2回目も来たい、誰か誘おう、懇親会にも出ようかな、と思っている。

ファシリテーターは
このお二人!



篠原 幸子
(NPO 法人場とつながりラボ home's vi)



平元美沙緒
(まちづくりファシリテーター)

7/22 せばなるレポート

旧県美（仮称・文化創造交流館）の利活用を話し合う「せばなるあきた」は、篠原幸子さんのファシリテーションと平元美沙緒さんのグラフィックレコーディングで進行。冷たいドリンクを飲んだり、チョコをつまんだりしながら和やかな雰囲気でのびのびと始まりました。

主役＝ここにいる皆さん

はじめに秋田市から、旧県美をめぐるこれまでのこと、まちづくりへの取り組み、来年度に改修工事が行われることなどを説明。千秋公園をバックグラウンドとした芸術文化ゾーンを中心に、今後、継続的に芸術・文化に触れられるプロジェクトを進めていくことなどが報告されました。「せばなるあきた」を運営するNPO法人アーツセンターあきたからは、ワークショップの成果を運営管理計画に反映させていくことを説明させていただきました。

「目的」と「ゴール」を共有して、第1回目のワークショップがスタート！参加者がお互いの誕生日で席替えをしつつ、ウォーミングアップ。市役所職員も含めた20～70歳の参加者同士がそれぞれを知り、ワークショップに参加した理由などを話し合いました。

旧県美の「これまで」と「これから」

お互いを知ったあとは、旧県美やその周辺について、自分が知っていること、知らないことを付箋に書き書き…。参加者同士が、旧県美について知らないことを聞き、知っていることを伝え合うのは、なんともワクワクする時間でした。「周囲の庭がいい」「保存樹となっている木々が素敵」などから、喫茶室の思い出などそれぞれの思い。そして、旧県美の名前（現在は「(仮称)文化創造交流館」）はどうなるのか、利用時間・利用料など運営管理計画への反映の仕方、改修プラン、そして財源について…。20歳の参加者からは、「昔の思い出や思いが聞けて、いい学びになった」「ただみんなが集まる場所ではなく、価値のある場所になってほしい」といった感想がありました。



★旧県美についてのあれこれを付箋に書いて貼りながら「ありたい未来」を語り合う場面も。多くの思いを共有して、第2回目のワークショップへと向かいます。

具体的な意見を運営に反映させていく

また、昨年度の参加者からは、「昨年の成果はどうなったか疑問」とのご意見がありました。昨年度のワークショップによって大枠の方向性が示されたので、今年度はより現実的に、設計や運営に反映できる具体的な意見をいただきながら利用の仕方をまとめていくことを確認しました。

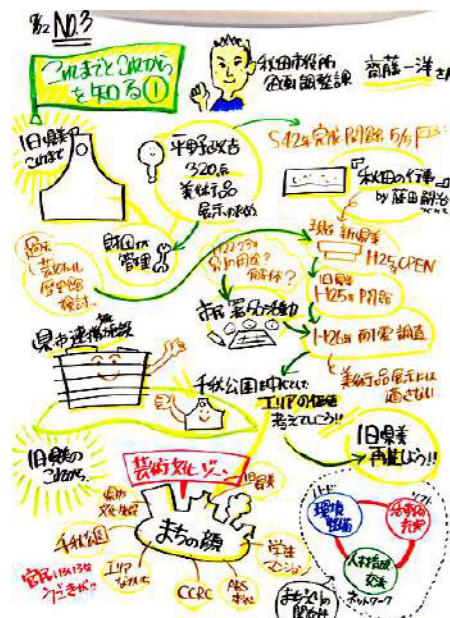
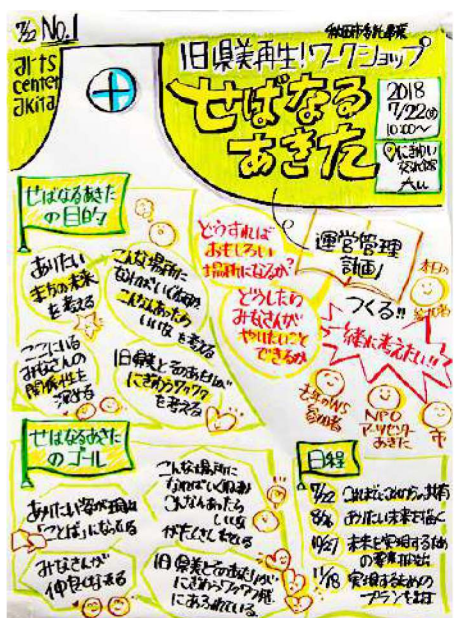
世代や職業、関心を超えて

終盤には、会場から歩いて旧県美へ向かい、現在の様子を視察。広い空間を見上げ、天井から差し込む光を眺め、《秋田の行事》の痕跡を目の当たりにしました。閉館して5年となる建物は、参加者それぞれの思いが交錯するなか静かに私たちを受け止めてくれたように思います。

それぞれの思いを知り、これまでとこれからを共有し、「こうなってほしい」という願いを語り合った今回のワークショップ。世代や職業、興味や関心を超えて、旧県美に関する多くの思いが共有されたならうれしいです。

平元さんのグラフィックコーナー

平元さんが描いたグラレコは模造紙7枚！次回初めて参加する方もこれを見れば分かるように会場に展示いたします。



次回以降は…

「**ありたい未来**」を描いていきます。

芸術、文化、歴史にとどまらず、市民が多彩な活動をしていく場としてどんなことができるのか。千秋公園をはじめとする中心市街地一帯の未来像を描き、実現したい夢の企画を考えていきます。

- 第2回 8/26 (日) **ありたい未来を描く**
- 第3回 10/27 (土) **未来を実現するための要素抽出**
- 第4回 11/18 (日) **実現するためのプランを出す**

＼ せばなる Q&A ／

《秋田の行事》があった場所はどうなっているの？

藤田嗣治《秋田の行事》は縦 3.65m、横 20.50m の大作です。現在の秋田県立美術館に移される前に展示されていたのが、この大展示室でした。壁画があった壁には、壁画が外され剥き出しとなった木枠が圧倒的な存在感でそこにそのまま、ありました。視察した参加者はそれぞれ何を思ったでしょうか。



場所：山王一丁目食堂

秋田市山王 1-1-1 秋田市役所 2F

時間：各回 10:00～15:00

休憩 1 時間。昼食は各自でご準備ください。

申込：参加をご希望の方は、下記の情報を NPO 法人アーツセンターあきたまでご連絡ください。

①お名前 ②年齢 ③電話番号 ※申込受付は先着順とさせていただきます

NPO 法人アーツセンターあきた 〒010-1632 秋田市新屋大川町 12-3 アトリエももさだ内
TEL: 018-888-8137 FAX: 018-888-8147 mail: info@artscenter-akita.jp (受付時間 平日 9:00～17:00)



振り返りや懇親会にも
ぜひ参加ください！



託児希望の方は
ご相談ください！



むかし懐かしの
写真もあります



おかしと飲み物も
ご用意しております